

最新の密教論攷 44 篇を収載！

上巻—日本篇
下巻—インド・中国篇

真言密教と日本文化〈上・下〉

加藤精一博士 古稀記念論文集

大正大学名誉教授・真言宗豊山派総合研究院院長

ノンブル社

A5判・上製・貼函入・1,160頁 定価 32,550円
ISBN978-4-903470-26-9 C0015

加藤精一（かとう・せいいち）略歴

昭和30年 慶応義塾大学入学
昭和41年 大正大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程入学
昭和42年 真言宗豊山派南蔵院住職、現在在任中
昭和62年 文学博士(大正大学)「真言密教における仏身観の研究」
大正大学教授(平成16年退職、現在名誉教授)
平成12年 真言宗豊山派総合研究院院長に就任、現在在任中

著書 『密教の仏身観』『弘法大師空海伝』『日本密教の形成と展開』
『弘法大師思想論』『弘法大師空海考』ほか多数がある

*新刊図書

苦米地誠一 大正大学准教授
平安期真言密教の研究〈全2巻〉
A5判・上製・貼函入 定価 50,400円

遠藤祐純 大正大学名誉教授
戒律概説—初期仏教から密教へ
A5判・上製・函入 定価 10,290円

伊藤千賀子 インド仏教学
仏教説話の展開と変容
四六判・上製 定価 5,040円

齊藤雅恵 智山派副住職
密教における臨終行儀の展開
A5判・並製 定価 3,675円

*既刊図書

大正大学名誉教授
小野塚幾澄博士古稀記念論文集
空海の思想と文化〈上・下〉
A5判・上製・貼函入 定価 27,300円

苦米地誠一 大正大学准教授
興教大師覚鑊聖人年譜〈上・下〉
A4判・並製・貼函入 定価 29,400円

◆ご注文や出版に関するお問合せは下記へ

図書出版(株)ノンブル社

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田 1-8-22 伊東ビル 2F
Tel. 03-3203-3357 Fax. 03-3203-2156

真言宗の歴史の紙幅には、日本の仏教とその文化のほとんどすべてが網羅されて余すところが無いといつて過言ではない、とわたくし達は確信していますが、その大師の思想と文化を体現してやまない人生を真摯に歩んでこられたのが、この加藤精一博士であると、常々わたくしどもは思考しております。……そういう大師の密教思索はインド大乘仏教の基本的な思想を正統に受継ぎ、更なる発展を期して大いに展開創造せしめたもの、と位置づけられたのが加藤先生であると、その聲咳の末席に列なる者のひとりとして、ひそかに自負をしております。（序にかえて）より）

▼上巻 「日本篇」

弘法大師空海と日本書道	松崎恵水
成仏論考	吉田宏哲
空海が用いた『般若心経』について	大澤聖寛
入智の偈頌	伊藤教宣
弘法大師の両部思想	乾 仁志
空海思想の成仏と菩提心について	目黒宗榮
空海から済暹まで	堀内規之
真言密教の律典について	白石卓秀
六大法身	橘 信雄
明恵の釈尊観をめぐって	粕谷隆宣
永観の法身観	舍奈田智宏
『大疏百條第二重』の 古板と新刊の相違について	榊 義孝
六字経法と密教の六観音	苫米地誠一
最澄と徳一の行位対論	大久保良峻
真実曼荼羅と形像曼荼羅	福田亮成
両部曼荼羅の形態とかたち	真鍋俊照
中国思想からみた正系現図曼荼羅	中村幸真
真言声明醍醐流〈理趣経讃〉の 二種の譜	新井弘順
醍醐寺所蔵「雅嚴授与記」	坂本正仁
真言寺院におかれた年分度者	武内孝善
長谷信仰の伝播と長谷寺の性格	笹岡弘隆
近世南部藩における出羽三山信仰	藤田祐俊
薩摩坊津一乗院と紀州根来寺	赤塚祐道
遍路ブームと団塊の世代	星野英紀
四国遍路のいわゆる四転説の成立	頼富本宏
戦後真言宗豊山派社会事業の展開	山口幸照

▼下巻 「インド・中国篇」

唐中期の金剛般若経疏	平井宥慶
もう一つの共生社会論	小山典勇
中国古歳時記中の仏誕日と習俗	田中文雄
善無畏の胎藏大日解釈について	高田良海
不二摩訶衍と一心二法二門論	早川道雄
『仁王陀羅尼念誦儀軌』について	山口史恭
『大宝積経』「摩訶迦葉会」に説かれる 発菩提心	加藤純一郎
五姓格別の源流を訪ねて	佐久間秀範
尊勝陀羅尼成立考	佐々木大樹
『カダム全集』所収のリンチエンサンポの著作 について	川崎一洋
『蕤呬耶経』蔵・漢訳テキスト研究(6)	伊藤堯貴
文殊具密流の伝える死者儀礼	桜井宗信
『サーダナマラー』「仏頂尊勝成就法」和訳 およびテキスト	森 雅秀
『華積陀羅尼神呪経』に見る 初期密教の特徴	大塚伸夫
毘盧遮那を中尊とするマンダラ序論	野口圭也
『不空罽索神変真言経』に説かれる 水護摩について	木村秀明
般若経の法身思想	越智淳仁
般若理趣経の註釈的研究三「第二段 毘盧遮那 理趣会品」「第三段 降三世品」	高橋尚夫

